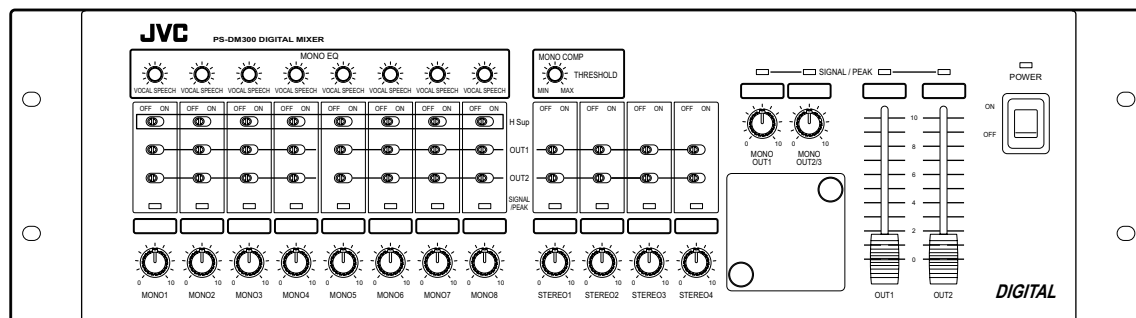


JVC

デジタルミキサー

型名 **PS-DM300**

取扱説明書
(B)



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。







お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上、重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか確かめください。

B5A-1872-00

安全上のご注意

別冊の「安全上のご注意」の内容に追加したご注意文です。ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。
絵表示の説明については、別冊の「安全上のご注意」を参照してください。

 警告	
本機の上に火のついたものを置かない 火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。	
接続端子パネルの通風孔からクリップなどの異物を挿入したり、水などの液体をこぼしたりしない 内部回路がショートし火災の原因になることがあります。	
本機は日本国内専用です 必ず商用電源 AC100V 50Hz/60Hzで使用してください。	
本機の設置は、技術を必要とします 設置工事は必ず、販売店または専門の工事店に依頼してください。	
接続端子パネルの移動の際には安全確認が必要です 内部のケーブルを傷つけないでください。 機器内部に異物を混入させないでください。 パネルの移動後は、絶縁抵抗試験などの安全確認を実施してください。確認を怠ると、火災・感電の原因となります。	

 注意	
電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設けてください。電源スイッチを切っただけでは、機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。	 
製品に悪い影響を与えるので、ほこりや振動の多い所には置かない	
電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしない コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。	
本機の設置後には、必ずポリ袋を回収する	

正しくお使いいただくため のご注意

保管および使用場所

- 次のような場所に置かないでください。誤動作や故障の原因となります。
 - 許容動作温度（0℃～40℃）範囲外の暑いところや寒いところ
 - 許容動作湿度（10%RH～90%RH）範囲外の湿気の多いところ
 - 変圧器やモーターなど強い磁気が発生するところ
 - トランシーバーや携帯電話など電波が発生する機器の近く
 - ほこりや砂の多いところ
 - 振動の激しいところ
 - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - 厨房など蒸気や油分の多いところ
 - 放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

- 本機の上に水の入ったもの（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かないでください。機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
- 内部に物を入れないでください。通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れると火災や感電の原因となります。
- 本機の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので火災の原因となります。
- 本機の上に物を置かないでください。テレビモニターのような重いものや、本機からはみ出るようなものを置くとバランスが崩れて倒れたり、落ちたりしてケガの原因となることがあります。
- 横倒しや逆さまに設置しないでください。安定した水平な場所に置いて使用してください。
- 長時間音がひずんだ状態で使用しないでください。過大入力での使用は、本機だけでなく、接続しているパワーアンプやスピーカーなどの破損の原因となります。

移動について

- 移動するときは接続コード類ははずしてください。移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機を箱から取り出すときや、移動の際に持ち運ぶときは、誤って落とさないよう、十分注意して取り扱ってください。

お手入れについて

- 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。
- 殺虫剤など揮発性の薬品をかけないでください。ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤（かそざい）の働きによって変質したり、塗装がはがれたりするなどの原因となります。

省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その他

- 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。
- 本機および本機に接続したケーブルを強い電波や磁気の発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用すると、本機の動作に影響が出ることがあります。

ミュート動作について

- 電源を入れてから6秒～9秒間は音が出ませんが、これはミュート動作のためで、故障ではありません。

電源の投入について

- すべての結線が終了してから本機の電源を入れてください。接続コードの抜き差しは電源を切ってから行ってください。
- 周辺機器と組み合わせて使用する場合、パワーアンプの電源を最後に入れてください。ノイズなどによるスピーカーの破損を防止できます。

配線について

- 電力線と入力信号線はできるだけ離して接続してください。電源コードやスピーカーケーブルなどの電力線とマイクケーブルなどの入力信号線を近づけると、機器の動作が不安定になり、動作不良の原因となります。10cm以上は離して配線してください。

マイクロホンのバランスケーブルの使用について

- アンバランス（不平衡）タイプのケーブルを5m以上延長すると、電源からの誘導雑音（ブーンという音）や調光ノイズなどの影響を受けやすくなります。マイクケーブルを延長する場合は、バランス（平衡）タイプのケーブルを使用してください。

設置場所について

- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。

特長

ハウリングサプレッサー内蔵

運用中に発生するハウリングを自動的に検出して抑制するハウリングサプレッサーを内蔵しています。

15種類のスピーカーパラメーターを記憶

JVCブランドの15種類のスピーカーの特性に合わせて、ステレオ出力にイコライザーを設定できます。

モノラル入力音質調節内蔵

モノラル入力に個別につまみを設け、マイクロホン使用時の音声の明瞭度を調整できます。

モノラル入力コンプレッサー内蔵

モノラル入力にコンプレッサーを搭載しています。マイク落下などの取り扱いによる不快な音の軽減や過大な入力信号からシステムの破壊を防ぎます。

アナウンスミュート機能

指定したモノラル入力に音声信号が入力されると自動的にステレオ入力からの音声をミュート(減衰)するので、明確なアナウンスが行えます。

パソコンを使用せずに各種設定が可能


設定ソフトを使用することなく、フロントパネルにあるスイッチやつまみで設定できます。

天面設置 / 前面設置に対応

接続端子パネル部は設置方法や利用方法に応じて背面、上面に取付位置が変更できます。

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた

- ご注意** : 操作上の注意が書かれています。
- メモ** : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
-  : 参考ページや参照項目を示しています。

■本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

もくじ

はじめに

安全上のご注意	2
正しくお使いいただくためのご注意	3
特長	4
もくじ	4

準備 (設置 / 接続)

本機を設置する	5
接続端子パネルの取付位置変更について	5
各部の名称とはたらき	6
フロントパネル	6
接続端子パネル	8
接続例	9
接続コネクタおよびケーブルについて	10

設定 / 機能

ディップスイッチの設定	10
デジタルエフェクト機能について	12

その他

ブロックダイアグラム	13
こんなときは	14
仕様	15
保証とアフターサービス	裏表紙

本機を設置する

ラックケースへ取り付ける場合：

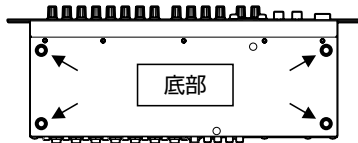
- EIA ユニバーサルピッチのラックケースに本機を取り付けます。
- ラックケースの取り付け位置を確認して、所定の場所へ取り付けてください。
- ラックケースへの取付は、付属のラックマウントねじ（M5）をご使用ください。

ご注意：

- ラックケースに組み込むときは、パワーアンプの近くはさけてください。パワーアンプの電源トランスの影響で、ハム音が発生する場合があります。1U（約 44mm）以上のスペースを取ってください。

棚や卓上で使用の場合：

- 付属のフットを本機の底部に貼り、安定した水平な場所に置いて使用してください。



ご注意：

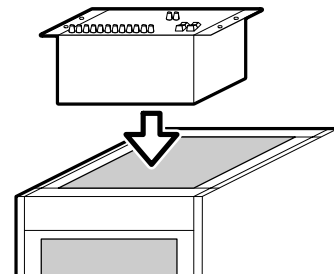
- パワーアンプの上に直接本機を置かないでください。パワーアンプの電源トランスの影響で、ハム音が発生する場合があります。また、本機の上にもものを置かないでください。

接続端子パネルの取付位置変更について

ご注意：

- 接続端子パネルの移動には専門技術が必要です。お買い上げ販売店または最寄のサービス窓口にご相談ください。安全のため、必ず本機の電源コードを抜いた状態で作業を行ってください。

工場出荷時は、接続端子パネルは背面側に取り付けられています。フロントパネルを上向きにラックマウントした場合などに外部機器との接続が難しい場合は、接続端子パネルの取付位置を背面から上面に変更できます。

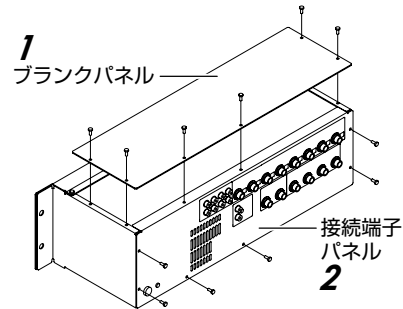


メモ：

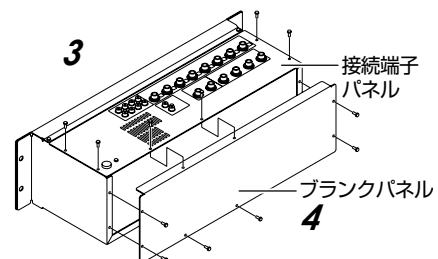
- ラックへの設置時、電源コードおよび音声用のケーブルにストレスがかからないようにご注意ください。

■ 背面から上面への取付位置の変更方法

- 1 移動先のブランクパネルのねじをはずし、ブランクパネルをはずします
- 2 接続端子パネルのねじをはずします

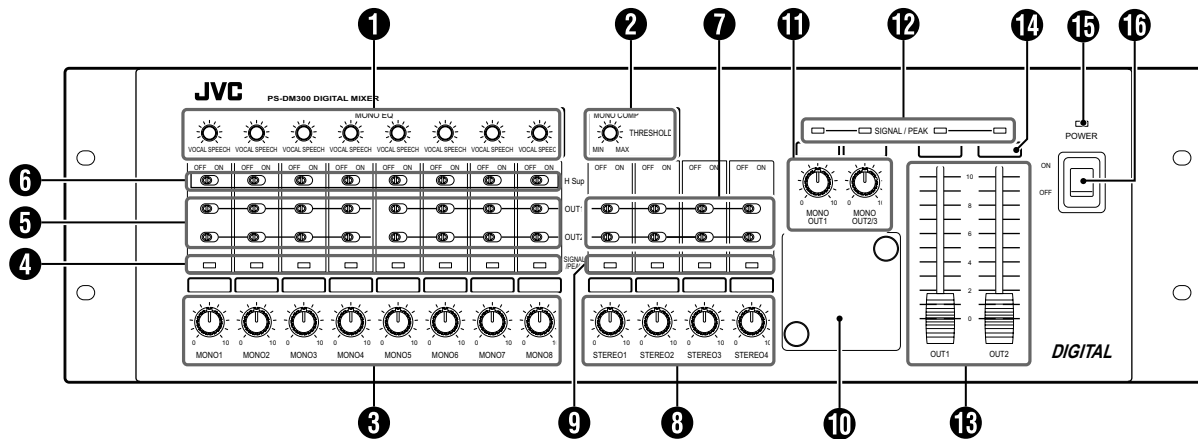


- 3 内部のケーブルに注意しながら接続端子パネルを本体上面に取り付けます
- 4 手順1ではずしたブランクパネルを接続端子パネルのあった位置に取り付け、接続端子パネルとブランクパネルをねじで固定します



各部の名称とはたらき

フロントパネル



MONO INPUT モノラル入力部

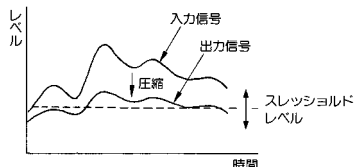
① [MONO EQ] モノラル入力音質調整つまみ

モノラル入力信号の音質を変化させることができます。“VOCAL”側はフラットな特性です。“SPEECH”側に回していくと入力信号の音質が変化します。講演などの際に、人の音声の明瞭度を上げることができます。（モノラル音質調節つまみの詳細については、12ページ「デジタルエフェクト機能について」をご覧ください。）

② [MONO COMP、THRESHOLD] モノラル入力コンプレッサースレッシュولد調節つまみ

過大な信号が入った場合、モノラル入力信号を圧縮（コンプレッション）し、音の歪みを低減できます。この圧縮を開始する信号レベル（スレッシュولدレベル）を調節します。

- ・“MAX”：圧縮は行われません。左に回していくと信号レベルの小さいところで圧縮が開始されます。
- ・“MIN”：音の強弱にメリハリがなくなります。



（動作イメージ図）

③ [MONO 1 ~ MONO 8] モノラル入力音量調節つまみ

MONO INPUT の音量を調節します。


ご注意:

- ・ 入力端子に外部機器を接続していないチャンネルのつまみは最小位置（目盛り“0”）にしてください。

④ [SIGNAL/PEAK] モノラル入力信号ランプ

MONO INPUT 1 ~ 8 端子に入力された信号レベルを表示します。

- ・ 緑色に点灯：適正に信号が入力されている状態
- ・ 赤色に点灯：信号が過大入力されている状態

ランプが赤色に点灯した場合は接続機器の信号出力レベルを下げるか、本機の接続端子パネルの入力 PAD ボタン（ 8 ページ ⑩）を“ON”にして入力信号を減衰させてお使いください。

⑤ [OUT1、OUT2] アウトプット選択スイッチ

入力信号を出力するシステムを選択するスイッチです。

- ・ OUT1 側のスイッチ：スイッチを“ON”にすると入力信号がステレオ出力 1 とモノラル出力 1 に出力されます。
- ・ OUT2 側のスイッチ：スイッチを“ON”にすると入力信号がステレオ出力 2 とモノラル出力 2 に出力されます。

ご注意:

- ・ ⑩のディップスイッチ保護カバー内にあるアウトプット 3 選択スイッチ（OUT3 アサイン）が 1 つでも“ON”になっていると、OUT2 側のスイッチが“ON”になってもモノラル出力 2/3 へは出力されません。（10 ページ「ディップスイッチの設定」をご覧ください。）

⑥ [H Sup] ハウリングサプレッサースイッチ

ハウリングとは、マイクロホンとスピーカーを使用する拡声装置において、スピーカーから出た音を再びマイクロホンで拾って起こる共振現象のことです。

このスイッチを“ON”にすると、ハウリングを抑制します。（ハウリングサプレッサー機能の詳細については、12 ページ「デジタルエフェクト機能について」をご覧ください。）

ご注意:

- ・ 拡声レベルが極端に上がっていたり、マイクロホンとスピーカーが接近しすぎたりしていると、効果が得られないことがあります。モノラル入力端子に CD プレーヤーなどを接続し、音楽信号を入力する場合や、ボーカルマイクを使用する場合は、スイッチを“OFF”にしてください。

STEREO INPUT ステレオ入力部

⑦ [OUT1、OUT2] アウトプット選択スイッチ

入力信号を出力する系統を選択するスイッチです。

- OUT1 側のスイッチ：
スイッチを“ON”にすると入力信号がステレオ出力1とモノラル出力1に出力されます。
- OUT2 側のスイッチ：
スイッチを“ON”にすると入力信号がステレオ出力2とモノラル出力2/3に出力されます。

メモ:

- モノラル出力へは左 (L) チャンネルと右 (R) チャンネルの信号がミキシングされます。

ご注意:

- ⑩のディップスイッチ保護カバー内にあるアウトプット3選択スイッチ (OUT3 アサイン) が1つでも“ON”になっていると、OUT2 側のスイッチが“ON”になっていてもモノラル出力2/3へは出力されません。(10ページ「ディップスイッチの設定」をご覧ください。)

⑧ [STEREO 1 ~ STEREO 4]

ステレオ入力音量調節つまみ

STEREO INPUT の音量を調節します。

ご注意:

- 入力端子に外部機器を接続していないチャンネルのつまみは最小位置 (目盛り“0”) にしてください。

⑨ [SIGNAL/PEAK] ステレオ入力信号ランプ

STEREO INPUT 1 ~ 4 端子に入力された信号レベルを表示します。

- 緑色に点灯 : 適正に信号が入力されている状態
- 赤色に点灯 : +8dBu以上の信号が入力されている状態

ランプが赤色に点灯する場合は適正なレベルになるよう接続機器の信号出力レベルを調節してお使いください。信号出力レベル固定の機器 (CD プレイヤー等) を接続した場合、まれにランプが赤色に点灯する事がありますが、そのままお使いいただけます。

※接続機器の信号出力レベルが最大 2V(+6dBV=+8.21dBu) 以下であれば、音質劣化なくお使いいただけます。

メモ:

- 左 (L) チャンネルと右 (R) チャンネルの信号のうち、信号レベルが大きいチャンネルを表示します。

ディップスイッチ設定部 (保護カバー内)

⑩ ディップスイッチ保護カバー

保護カバー内に本機の機能を設定するための3つのディップスイッチがあります。

保護カバーは両端のねじを回すと取りはずすことができます。取りはずした際に紛失しないようにご注意ください。

保護カバー内の3つのディップスイッチの詳細については、10ページ「ディップスイッチの設定」をご覧ください。

ご注意:

- ディップスイッチは電源を切った状態で設定してください。
- 本機の運用時は保護カバーを取り付けてください。

OUTPUT 出力部

⑪ [MONO OUT 1、MONO OUT 2/3]

モノラル出力音量調節つまみ

モノラル出力端子 (⑧ 8 ページ⑫) に出力する音量を調節します。

⑫出力信号ランプが赤色に点灯しないレベルに音量を調節してください。

⑫ [SIGNAL/PEAK] 出力信号ランプ

ミキサー出力の出力信号のレベルを表示します。

- 緑色に点灯 : 出力が過大となるまで余裕がある状態
 - 橙色に点灯 : 適正に信号が入力されている状態
 - 赤色に点灯 : 信号が過大出力されている状態
- 赤色に点灯しないレベルに調節してください。

メモ:

- ステレオ出力の場合、左 (L) チャンネルと右 (R) チャンネルの信号のうち、信号レベルが大きいチャンネルを表示します。

⑬ [OUT1、OUT2]

ステレオ出力音量フェーダー

ステレオ出力端子 (⑧ 8 ページ⑩) に出力する音量を調節します。

ご注意:

- ⑫出力信号ランプが赤色に点灯しないレベルに音量を調節してください。

その他

⑭ ラベル貼り付け部

ラベルテープなどでシールを作成し、貼り付けてご使用ください。サイズは、幅 18mm × 高さ 6mm です。

⑮ [POWER] 電源ランプ

本機に電源が入ると点灯します。

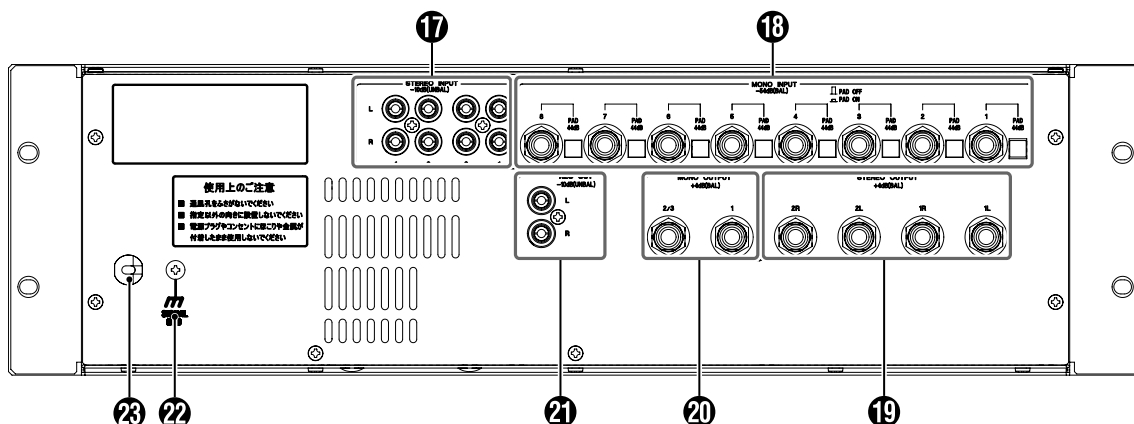
⑯ [POWER] 電源スイッチ

スイッチを“ON”側にすると電源が入ります。6秒~9秒後に音声出力されて、動作状態になります。

電源を切るときは“OFF”側にします。

接続端子パネル

本機の設置方法や利用方法に応じて、接続端子パネル部の取付位置を背面または上面に変更できます。（ 5 ページ）



17 [STEREO INPUT 1 ~ 4]

ステレオ入力 1 ~ 4 端子

-10dBu/10kΩ 不平衡（ステレオピンジャック）

CD プレーヤーやカセットデッキなどのステレオ出力機器を接続します。

18 [MONO INPUT 1 ~ 8] モノラル入力 1 ~ 8 端子

PAD OFF 時 : -54dBu/10kΩ 平衡

PAD ON 時 : -10dBu/2.2kΩ 平衡

(φ6.3 複式フォンジャック)

マイクロホンなどのモノラル出力機器を接続します。

[PAD 44dB] 入力 PAD ボタン

ボタンを押すと、入力信号を 44dB 減衰させます。

ワイヤレスチューナーなど、信号レベルの大きい機器を接続するときに使用します。

ご注意:

- ボタンの切り替えは電源を切っているとき、または 19 のモノラル入力音量調節つまみを左に回し、“0”の位置で行なってください。

19 [STEREO OUTPUT 1L, 1R, 2L, 2R]

ステレオ出力 1L, 1R, 2L, 2R 端子

+4dBu/10kΩ 電子平衡 (φ6.3 複式フォンジャック)

ステレオのミキサー出力端子でパワーアンプなどを接続します。

20 [MONO OUTPUT 1, 2/3]

モノラル出力 1, 2/3 端子

+4dBu/10kΩ 電子平衡 (φ6.3 複式フォンジャック)

モノラルのミキサー出力端子でパワーアンプなどを接続します。

21 [REC OUT] 録音用出力端子

-10dBu/10kΩ 不平衡（ステレオピンジャック）

カセットデッキなどへの録音用出力端子です。

- 左 (L) 側の信号：
MONO INPUT 1 ~ 8 の信号と STEREO INPUT 1 ~ 4 の左 (L) 側をすべてミキシングした信号です。
- 右 (R) 側の信号：
MONO INPUT 1 ~ 8 の信号と STEREO INPUT 1 ~ 4 の右 (R) 側をすべてミキシングした信号です。

22 [SIGNAL GND] シグナル接地端子

システム配線時に、機器どうしのシャーシアースをとる場合に使用します。

安全アースではありません。

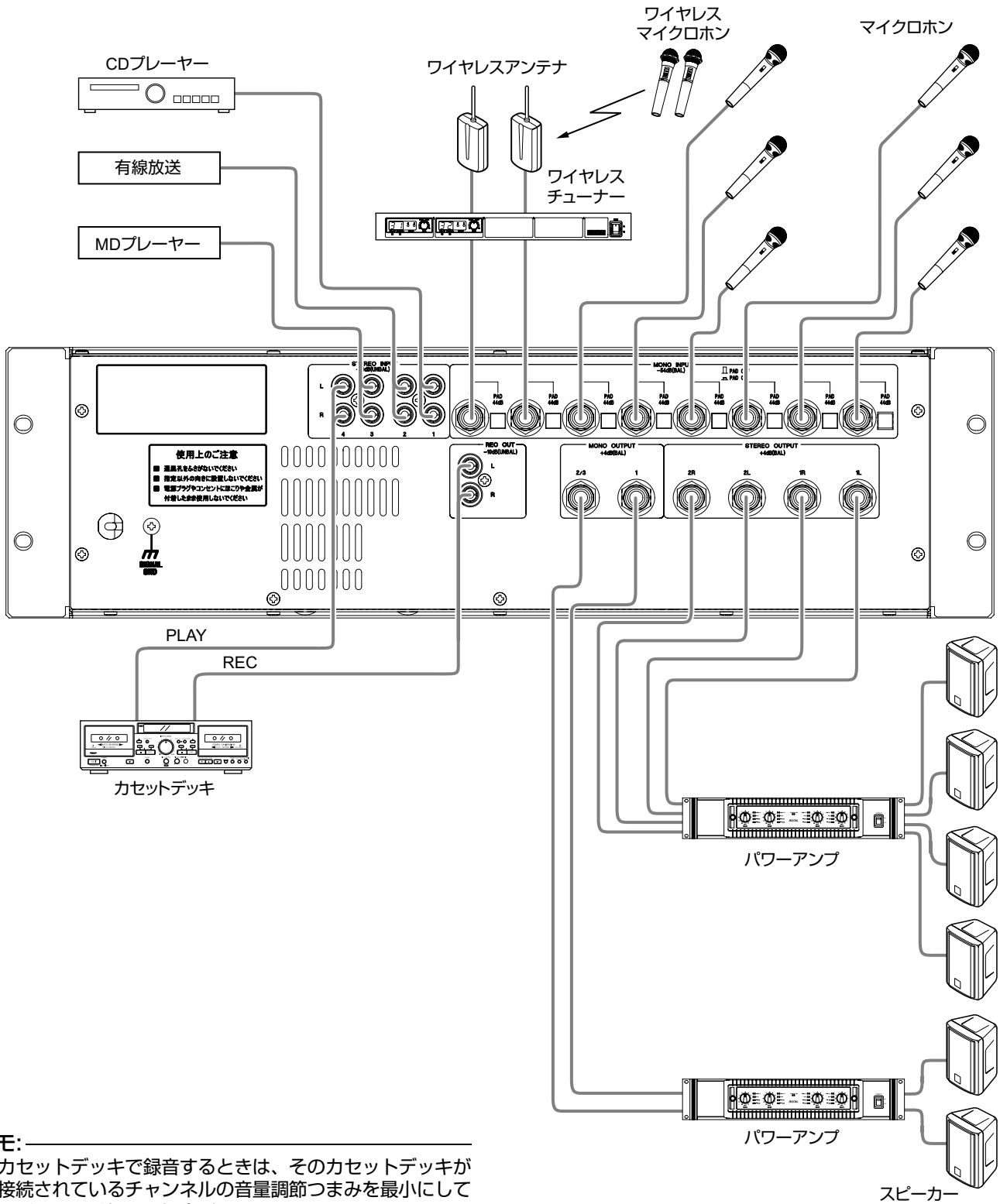
23 電源コード

必ず商用電源 AC100V に接続してください。

メモ:

- 接続コネクタ、ケーブルの詳細については、10 ページ「接続コネクタおよびケーブルについて」をご覧ください。

接続例



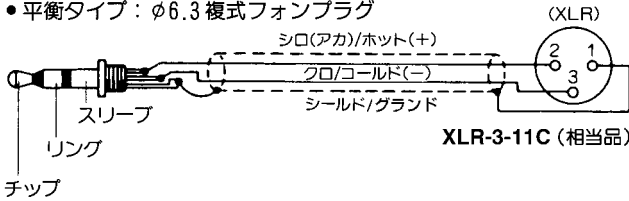
メモ:

- カセットデッキで録音するときは、そのカセットデッキが接続されているチャンネルの音量調節つまみを最小にしてください。発振する場合があります。

接続コネクタおよびケーブルについて

■ MONO INPUT の接続

- 平衡タイプ：φ6.3 複式フォンプラグ



- マイクロホンなどは平衡タイプをご使用ください。接続ケーブルを製作するときには、左図を参考に平衡接続としてください。

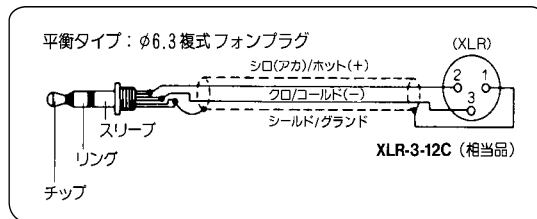
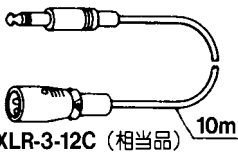
メモ:

- 入力信号ランプが“赤色”に点灯した場合、入力信号レベルが過大です。接続機器の信号出力レベルを下げるか、本機背面の入力PAD ボタン（PAD 44dB）を“ON”にし、入力信号ランプが“緑色”に点灯するよう接続機器の信号出力レベルを調整してください。

■ OUTPUT の接続

CN-5003フォンプラグ

- φ6.3 複式



- パワーアンプの入力コネクタが、XLR コネクタ（平衡入力）の場合は、左図のような接続ケーブルをご使用ください。

設定 / 機能

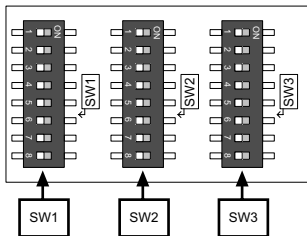
ディップスイッチの設定

フロントパネルの⑩ディップスイッチ保護カバーをはずすと3つのディップスイッチがあります。

ディップスイッチは電源を切った状態で設定してください。

本機の運用時は保護カバーを取り付けてください。

（工場出荷時は、スイッチはすべて“OFF”です。）



設定方法

OFF ← → ON



先の細いマイナスドライバーなどを使用してください。
右にスライドすると“ON”、左にスライドすると“OFF”になります。

■ SW1 アナウンスミュート設定スイッチ

スイッチの割り振り

SW1	アナウンスミュート起動チャンネル
1	MONO INPUT 1
2	MONO INPUT 2
3	MONO INPUT 3
4	MONO INPUT 4
5	MONO INPUT 5
6	MONO INPUT 6
7	MONO INPUT 7
8	MONO INPUT 8

アナウンスミュート設定スイッチで設定したモノラル入力に音声信号が入ると、そのモノラル入力と同じアウトプット選択スイッチを“ON”にしているステレオ入力（CD、カセット）の音声信号を自動的にミュート（減衰）させ、目的のアナウンスを明瞭に放送できます。モノラル入力への音声信号がなくなると、ステレオ入力の信号は自動的に元に戻ります。

メモ:

- ステレオ入力の信号が元に戻るまでには、3～6秒かかります。

ご注意:

- マイクロホンに触れたときのタッチノイズや周囲の騒音により、アナウンスミュート機能がはたらくことがあります。

設定 / 機能

■ SW2 スピーカーパラメーター設定スイッチ

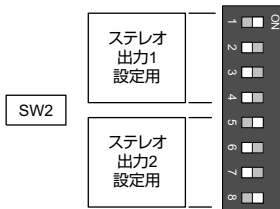
スピーカーパラメーターとは、そのスピーカーが最良の状態での拡声できるイコライザー設定値のことです。JVC ブランドのスピーカー 15 種類について、本機が保存しているスピーカーパラメーターを設定できます。ステレオ出力のみ設定できます。

ステレオ出力 1 とステレオ出力 2 には、別のスピーカーを設定できますが、左 (L) チャンネルと右 (R) チャンネルは同じ設定になります。

スイッチの割り振り

スピーカー品番	ステレオ出力 1				ステレオ出力 2			
	SW2 1	SW2 2	SW2 3	SW2 4	SW2 5	SW2 6	SW2 7	SW2 8
設定なし (フラット)	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
PS-S10B / PS-S10W	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON
PS-S103B / PS-S30W	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
PS-S112B / PS-S112W	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON
PS-S220B / PS-S220BH / PS-S220W / PS-S220WH	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
PS-S224B / PS-S224W / PS-S224WH	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
PS-S226B / PS-S226W	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF
PS-S308	OFF	ON	ON	ON	OFF	ON	ON	ON
PS-S508L / PS-S508R	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
PS-S512	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON
PS-S516L / PS-S516R	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
PS-S518	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF	ON	ON
PS-S550B / PS-S550W	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF
PS-S552B / PS-S552W	ON	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF	ON
PS-S553	ON	ON	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF
PS-S555	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON

設定例：ステレオ出力 1 に “PS-S508L / PS-S508R”、ステレオ 2 出力に “PS-S512” を設定する場合



■ ステレオ出力 1 のスピーカーパラメーターを PS-S508L / PS-S508R に設定する
SW2 の [1] を “ON” にする。[2] と [3] と [4] は “OFF” にする。

■ ステレオ出力 2 のスピーカーパラメーターを PS-S512 に設定する
SW2 の [5] と [8] を “ON” にする。[6] と [7] は “OFF” にする。

■ SW3 アウトプット 3 (OUT3) 選択スイッチ

スイッチの割り振り

SW3	OUT3 選択スイッチ
1	MONO INPUT 1、2
2	MONO INPUT 3、4
3	MONO INPUT 5、6
4	MONO INPUT 7、8
5	STEREO INPUT 1
6	STEREO INPUT 2
7	STEREO INPUT 3
8	STEREO INPUT 4

入力信号をフロントパネルにあるアウトプット選択スイッチ (OUT1、OUT2) とは別の組み合わせで出力したいときに使用します。

アウトプット 3 (OUT3) 選択スイッチで選択した入力信号がモノラル出力 2/3 端子へ出力されます。

メモ:

- モノラル入力は左記の割り振りのとおり、2 つのチャンネルを同時に設定することになります。ステレオ入力は 1 つのチャンネルごとに設定できます。

ご注意:

- アウトプット 3 (OUT3) 選択スイッチを 1 つでも “ON” にすると、モノラル出力 2/3 出力端子はアウトプット 3 選択スイッチで設定した信号が出力される端子に切り替わります。同時に、フロントパネルのモノラル出力音量調節つまみ 2/3 はアウトプット 3 の音量を調節するつまみに切り替わります。

デジタルエフェクト機能について

本機に搭載されているデジタルエフェクト機能を説明します。

■ モノラル入力音質調整について

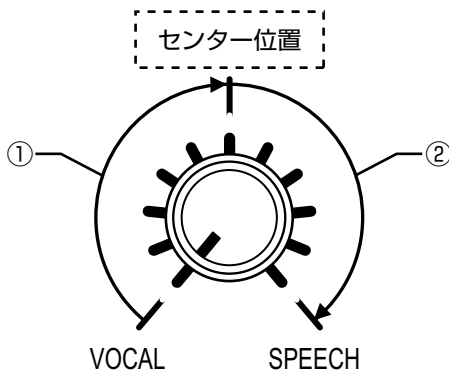
①モノラル入力音質調節つまみを右に回すと、モノラル入力信号の音質を調整できます。

左の“VOCAL”側に回しきった状態はフラットな特性になります。

センター位置付近までは、徐々に低い周波数と高い周波数を同時に減衰させていきます。(ローカットフィルターとハイカットフィルターが動作)

センター位置からさらに右へ回していくとローカットフィルターとハイカットフィルターを動作させるのと同時に、マイクロホンからの音を聞きやすくするためのアナウンスプロセッサがはたらきます。

※ 本機のアナウンスプロセッサは、人の声を聞きやすくするためのエフェクターです。



① 右に回すことでローカットフィルターとハイカットフィルターが動作します。

【効果】

- マイクロホンを触ったときに発生するタッチノイズを軽減します。
- 低域と高域で発生するハウリングを抑制します。

② さらに右に回すことでローカットフィルターとハイカットフィルターに加え、アナウンスプロセッサが動作します。

【効果】

- 人の声を聞きやすくします。

ご注意:

- アナウンスプロセッサは声質によっては、効果がわかりにくい場合や反対に効果が効きすぎて耳ざわりになる場合もあります。適度なつまみ位置でご使用ください。
- 右に回しきった状態ではハウリングが発生しやすくなる場合があります。そのときはつまみを左側に戻すか、⑥ハウリングサプレッサースイッチを“ON”にするか、またはシステム全体の拡声レベルを下げてください。

■ ハウリングサプレッサーについて

ハウリングとは、マイクロホンとスピーカーを使用する拡声装置において、スピーカーから出た音を再びマイクロホンで拾って起こる発振現象のことです。ハウリングが発生すると運用に影響が出るだけでなく、使用している機器が破損する原因になることもあります。

本機のハウリングサプレッサー機能は、このハウリングが起こる周波数を自動検出し、抑制する機能を持っています。

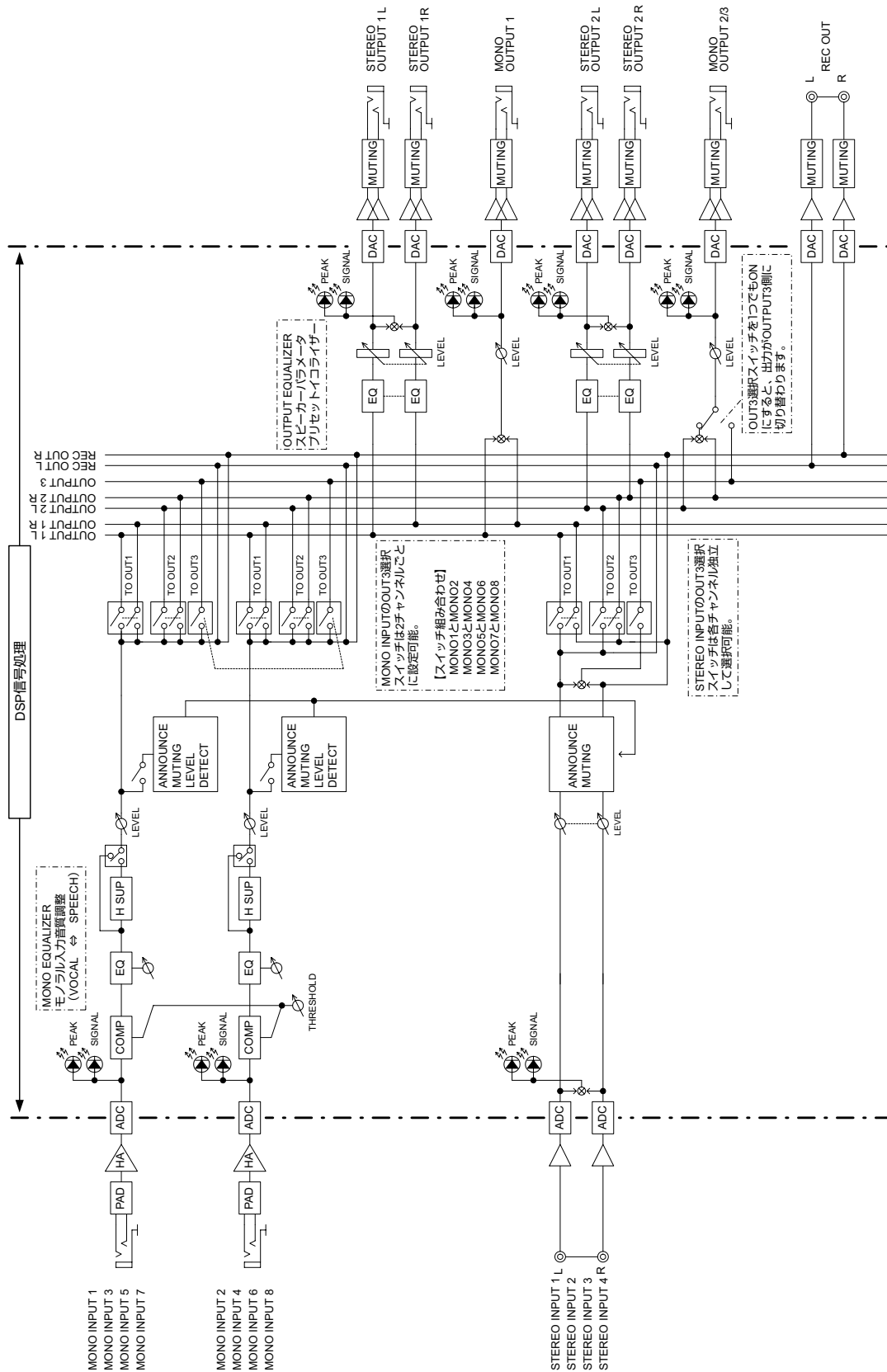
⑥ハウリングサプレッサースイッチが“ON”のとき、運用中にハウリングが発生するとその周波数を自動的に分析し、ハウリングを抑制します。モノラル入力の各チャンネルに12素子のアクティブフィルターを搭載しています。

ご注意:

- 拡声レベルが極端に上がっていたり、マイクロホンとスピーカーが接近しすぎていたりするなど、機器の設定状況によっては効果が得られないことがあります。
- ハウリングサプレッサーの動作の影響で音質が変化する場合があります。

ブロックダイアグラム

PS-DM300 オーディオ信号処理ブロックダイアグラム



こんなときは

症状	原因	処置	参考ページ
電源が入らない	電源コードが抜けている。	電源コードを接続してください。	📖 8 ページ
音が出ない	ケーブルが抜けている。	入力端子、出力端子のケーブルを接続してください。	📖 8 ページ
	入力の音量調節つまみが最小位置になっている。	フロントパネルの入力音量調節つまみを操作してください。	📖 6 ページ
	出力の音量調節つまみが最小位置になっている。	フロントパネルの出力音量調節つまみを操作してください。	📖 6 ページ
	アウトプット選択スイッチが OFF になっている。	アウトプット選択スイッチの設定を確認してください。	📖 6 ページ
フロントパネルのアウトプット選択スイッチの OUT2 を選択しているのに、モノラル出力 2/3 端子から音が出ない	ディップスイッチ保護カバー内のアウトプット 3 選択スイッチ (SW3) が ON になっている。	フロントパネル上のアウトプット選択スイッチの OUT1 と OUT2 しか使用しない場合は、カバー内のアウトプット 3 選択スイッチ (SW3) はすべて OFF にしてください。	📖 11 ページ
音が歪む	音量が大きすぎる。	音量調節つまみで音量を下げてください。	📖 6 ページ
	入力端子に接続した機器の音量が大きすぎる。	接続先の機器の出力音量レベルを下げてください。 モノラル入力の場合、接続端子パネルの入力 PAD ボタンを押すと、入力信号を 44dB 減衰させることができます。	📖 8 ページ
モノラル入力からの音声だけが小さく聞こえる	接続端子パネルの入力 PAD ボタンが ON になっている。	モノラル音量調節つまみを左に回して “0” の位置にしてから入力 PAD ボタンを OFF にします。その後、モノラル音量調節つまみを操作して音量を調節してください。	📖 6 ページ 📖 8 ページ
	モノラル入力コンプレッサースレッシュォルド調節つまみが最小位置になっている。	モノラル入力コンプレッサースレッシュォルド調節つまみを “MAX” 側に回してください。	📖 6 ページ
音色が不自然	ハウリングサプレッサースイッチが “ON” になっている。	モノラル入力端子に CD プレイヤーなどを接続し、音楽信号を入力する場合は、スイッチを “OFF” にしてください。	📖 6 ページ
	モノラル入力音質調整つまみを右に回しきっている。	適度なつまみ位置で、ご使用ください。	📖 12 ページ

仕様

※ 本書のレベル表記のdBuはすべて0 dBu = 0.775 Vです。

■入力回路

MONO INPUT 1 ~ 8

- (PAD OFF) : -54 dBu/10 kΩ 電子平衡
- (PAD ON) : -10 dBu/2.2 kΩ 電子平衡
(φ6.3 複式フォンジャック)

H Supハウリングサプレッサー

- : 12 素子アクティブフィルター
(モノラル入力の各チャンネルで独立して動作)

モノラル入力音質調整

- : 音声の明瞭度を調節可能
- ローカットフィルター
100 Hz、-12 dB ~ 0 dB
- ハイカットフィルター
14 kHz、-12 dB ~ 0 dB
- アナウンスプロセッサー
- 上記3つの機能が連動して動作
(モノラル入力の各チャンネルで独立して動作)

モノラル入力コンプレッサー

- : スレッシュホールドレベル -30 dB ~ 0 dB
- レシオ 4 : 1 固定
- アタックタイム 0 ms 固定
- リリースタイム 100 ms 固定

STEREO INPUT 1 ~ 4 (L/R)

- : -10 dBu/10 kΩ 不平衡
(ステレオピンジャック)

■出力回路

STEREO OUTPUT 1、2 (L/R)

- : +4 dBu/10 kΩ 電子平衡
(φ6.3 複式フォンジャック)

ステレオアウトプットスピーカーパラメーター設定

- : JVC ブランドのスピーカー 15 種類のスピーカーパラメーターを選択設定可能

MONO OUTPUT 1、2

- : +4 dBu/10 kΩ 電子平衡
(φ6.3 複式フォンジャック)

REC OUT (L/R)

- : -10 dBu/10 kΩ 不平衡
(ステレオピンジャック)

■総合仕様

周波数特性

MONO INPUT : 100 Hz ~ 10 kHz +0.5 dB -3 dB
(1kHz 基準)

STEREO INPUT

: 20 Hz ~ 20 kHz +0.5 dB -1 dB
(1kHz 基準)

全高調波歪率

: 0.1% 以下
(1 kHz、18 dBu 出力時)

入力換算雑音

: -110 dB 以下 TYPICAL
(MONO INPUT、入力 150 Ω 短絡、IHF-A フィルター)

残留雑音

: -76 dBu 以下
(全ボリューム、フェーダー最小、IHF-A)

クロストーク

: -70 dB 以下
(7 kHz、各入力、出力間にて)

ミュート機能

: アナウンスミュート機能

電源

: AC100 V、50 Hz/60 Hz

消費電力

: 19 W

外形寸法

: 482 mm (幅) × 132 mm (高さ) × 159.7 mm (奥行き)
(突起物含まず)

質量

: 4.5 kg

許容動作温度

: 0 °C ~ 40 °C

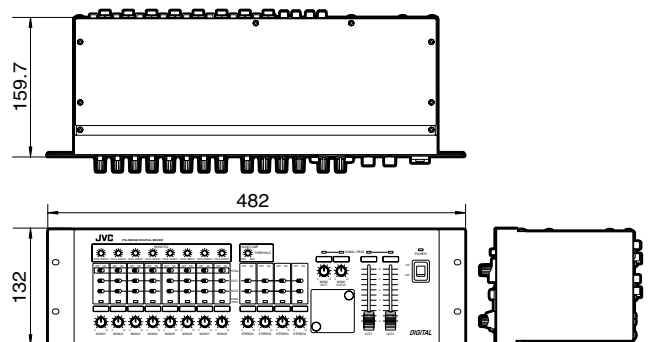
許容動作湿度

: 10 %RH ~ 90 %RH
(結露なきこと)

■添付物・付属品

取扱説明書	1
安全上のご注意	1
保証書	1
ラックマウントねじ (M5)	4
フット	4

■外形寸法図 [単位: mm]



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様の要望により有料にて修理いたします。

サービス窓口

- ・下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- ・カスタマーサポートセンター (045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に必要なことをご確認ください。

品名	: デジタルミキサー
型名	: PS-DM300 (B)
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12